



MacBook Pro 15" Unibody Late 2011のハードドライブ/赤外線センサーケーブルの交換

MacBook Pro 15" Unibody Late 2011のハードドライブ/赤外線センサーケーブルを交換します。

作成者: Miroslav Djuric



はじめに

ハードドライブケーブルは赤外線センサ/スリープ表示灯を含みます。

 ツール:

- プラススクリュードライバー(#00) (1)
- スパッジャー (1)

 部品:

- MacBook Pro 15" Unibody (Mid 2009 to Late 2011) Hard Drive Cable (1)

手順 1 — 底ケース



- 底ケースを固定している以下の10本のネジを外します。

- 13.5 (14.1) mm プラスネジ—3本

- 3 mm プラスネジ—7本

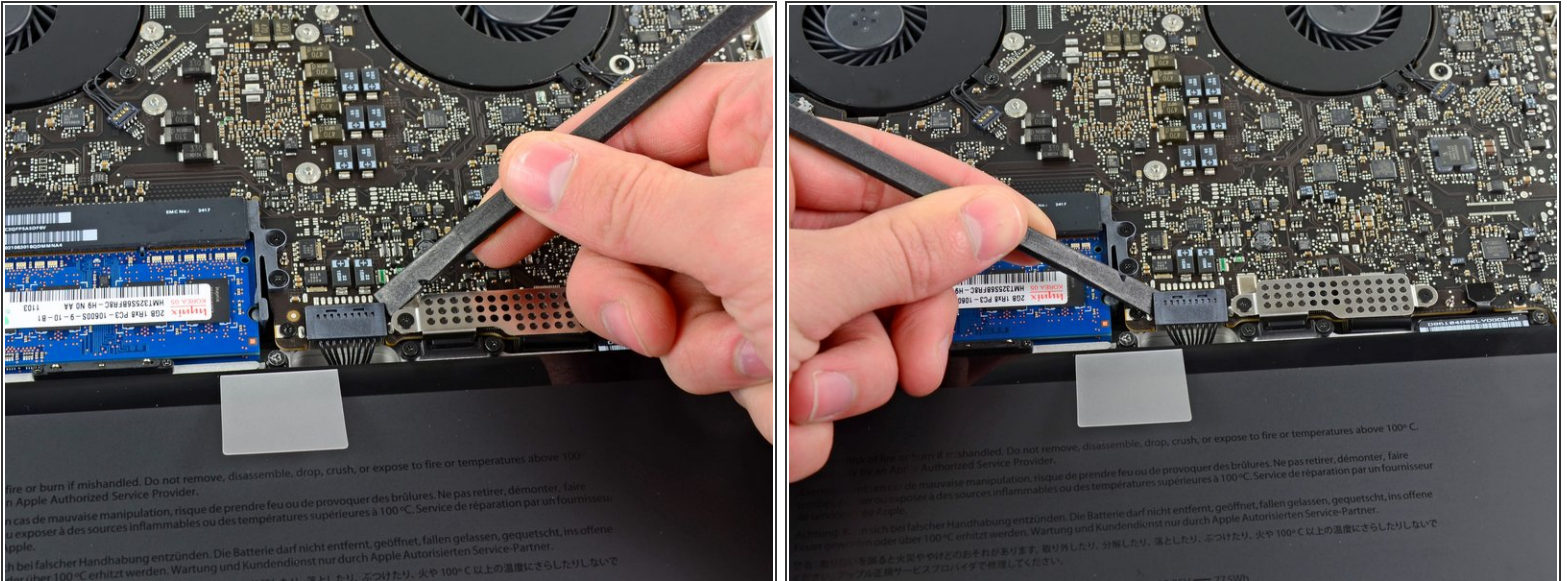
- ☑ このネジを外すときには、ネジが少し斜めに装着されていることに注意してください。再インストールの際は、同じように取り付けてください。

手順 2



- 両手を使用して排気口の近くから底ケースを持ち上げて、上部ケースに固定している2本のクリップを外します。
- 底ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリーコネクタ

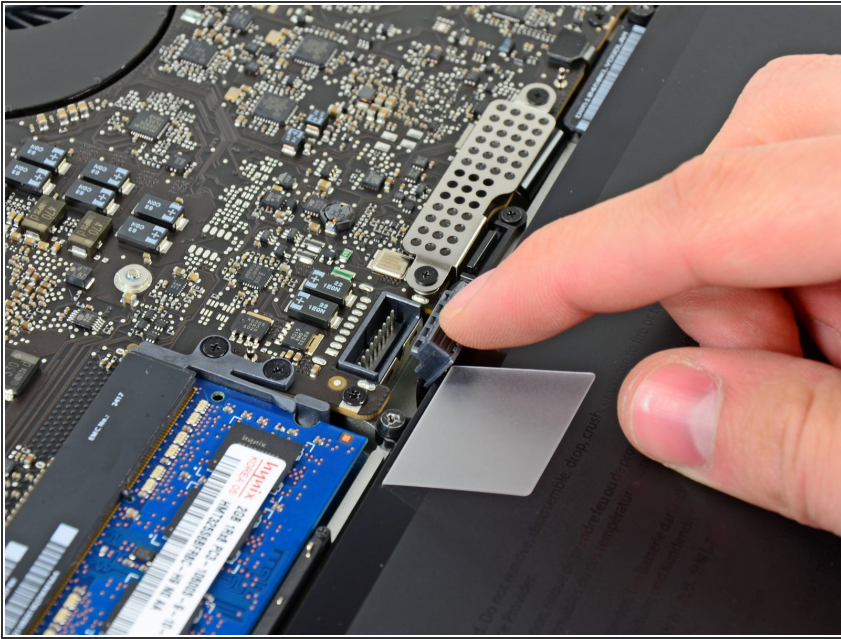


✎ ※特定の修理（ハードディスクドライブなど）の場合はバッテリーを取り外す必要はありませんが、マザーボード上で誤ってショートさせてしまうのを防ぐ事が出来るので推奨されます。バッテリーを外さない場合は、マザーボード上の部品が帯電している可能性があるので注意してください。

- ナイロンスパッジャーの端を使って、バッテリーコネクタをメイン基板上のソケットから持ち上げてください。

i ソケットから接続を外す際、コネクタの縦側の両サイドを上向きに持ち上げると簡単です。

手順 4



- バッテリケーブルをソケットから離すように少し曲げておき、作業中に誤ってメイン基板に接触しないようにします。

手順 5 — ハードドライブ



- 上部ケースにハードドライブブラケットを固定している2本のプラスネジを外します。
- ⓘ これらのネジはハードドライブブラケットに付けられています。

手順 6



- 上部ケースから固定ブラケットを持ち上げます。

手順 7



- ハードドライブのプルタブを持ち上げて、カシス(筐体)から引き上げます。デバイス本体に付けられたケーブルにご注意ください。

手順 8



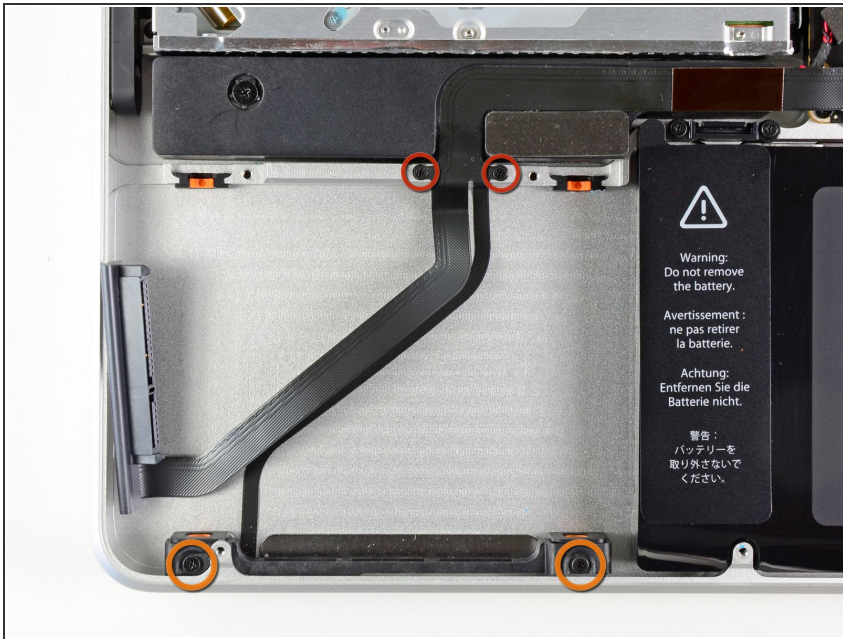
- ハードドライブからまっすぐコネクタを引っ張り、ハードドライブを取り出します。

手順 9 — ハードドライブ/赤外線センサケーブル



- スパッジャーの平面側先端を使って、基板からハードドライブケーブルのコネクタを引き離します。

手順 10



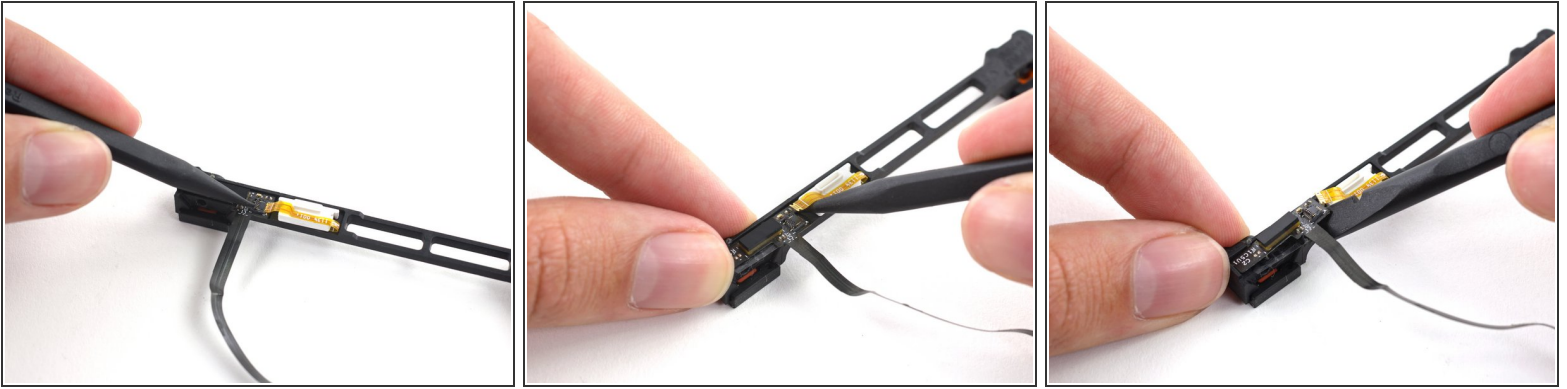
- 上部ケースにハードドライブと赤外線センサを固定している次の4本のネジを外します。
 - 1.5 mmプラスネジ—2本
 - 4 mm プラスネジ—2本

手順 11



- ハードドライブと赤外線センサブラケットを上部ケースの端からスライドして離します。
- ハードドライブと赤外線センサを丁寧に上部ケースから剥がします。
- 上部ケースから赤外線センサアセンブリとハードドライブを持ち上げます。

手順 12



❗ 交換用パーツにフロント(センサ)ブラケットが付いている/付いていない場合があります。もし付いていない場合は、交換用ケーブルに移してください。

- スパッジャーの先端を使って、ハードドライブケーブル上のZIFコネクタを裏返します。
- ZIFコネクタからセンサーブラケットのケーブルをゆっくりと裏返します。
- スパッジャーの平面側先端を使って、センサブラケットからハードドライブケーブルを外します。

★ 新しい交換用のハードドライブケーブルから接着剤シールを剥がしてください。これをセンサブラケットに付着します。そしてセンサブラケットのケーブルに取り付けます。

再組み立ての際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。